

食物アレルギー症状の対応に関する調査

○調査内容

令和元年度および2年度に県内の学校（幼小中学校、特別支援学校、学校給食センター）、認定こども園、保育園、児童福祉施設等で発生した食物アレルギー症状の対応事例について、調査の趣旨に賛同を得た施設から収集した。

1. 調査施設別発生件数

施設の種類	件数
幼稚園	2
小学校	22
中学校	9
特別支援学校	2
認定こども園	20
保育園	20
児童養護施設	1
学校給食センター	3
総計	79

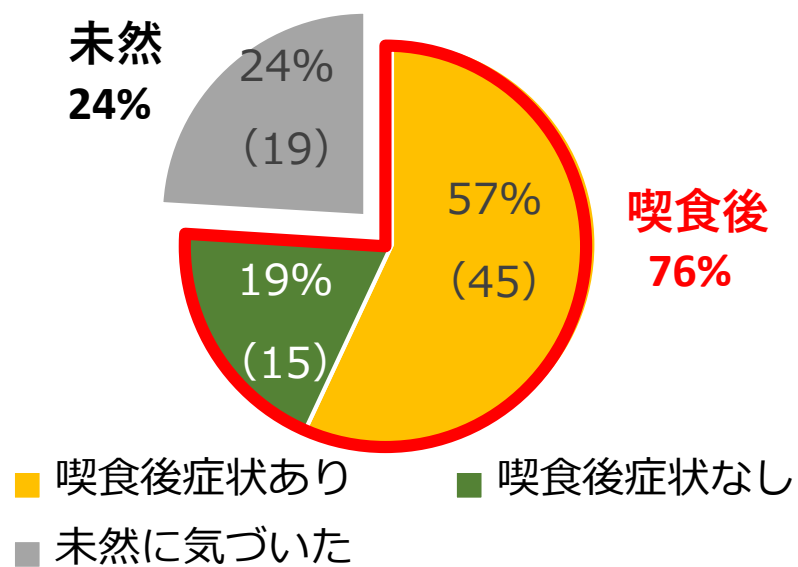
2. 施設の種類の発生時間（未回答事例があるため数は合わない）

	午前	給食時間	午後	おやつ	その他
幼稚園	1	1			
小学校	4	13	2		3
中学校		2	5		1
特別支援学校		2			
保育園・認定こども園	1	26		13	
児童養護施設		1			
学校給食センター	2	1			

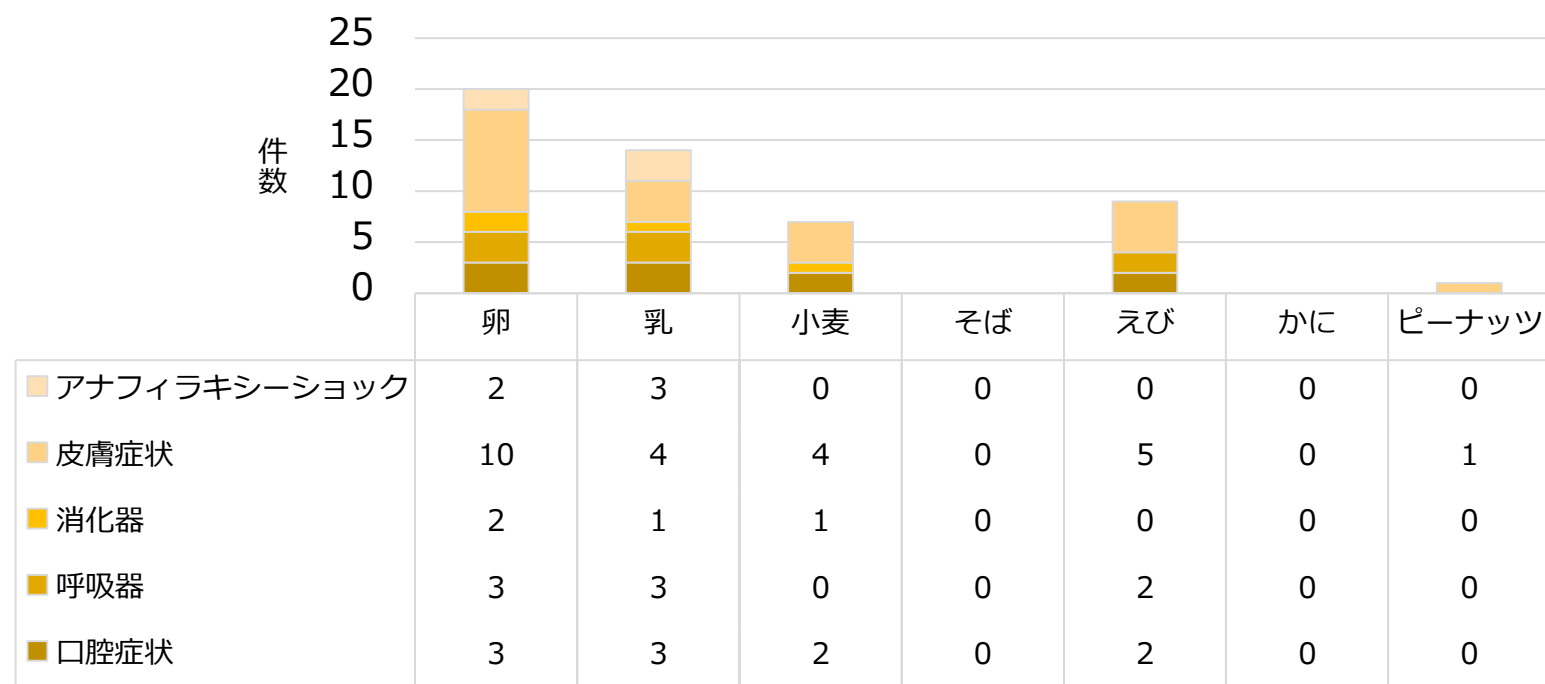
3. 28品目アレルゲン別の件数（太字は特定原材料）

種類	件数	種類	件数
卵	28	ゴマ、 ピーナッツ 、キウイ、いか	各2
乳	19		
えび	5	そば、 大豆 、りんご、メロン、チョコレート、すいか、さけ、カシューナッツ、アーモンド	各1
小麦 、くるみ	各4		

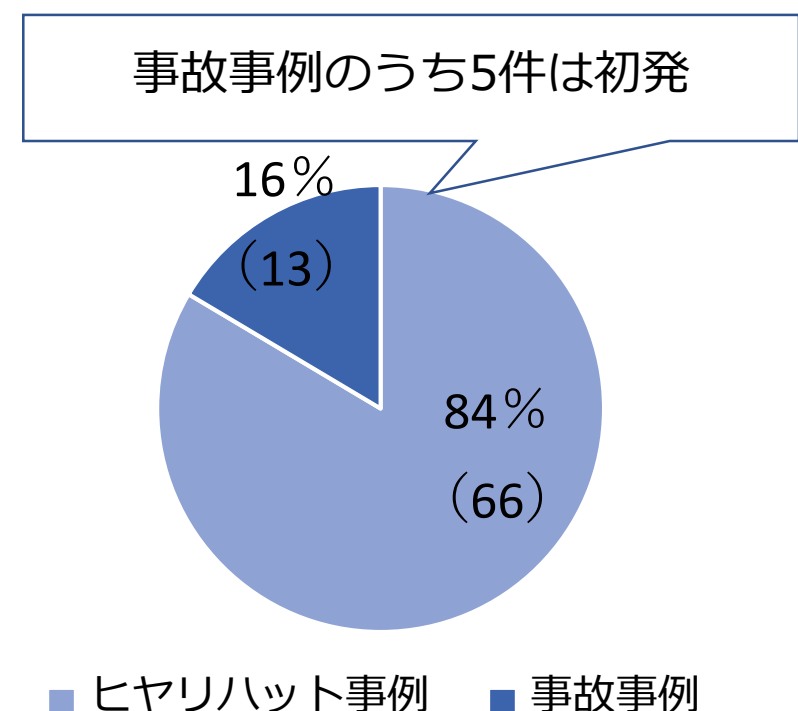
4. 発症の有無（括弧内は件数）



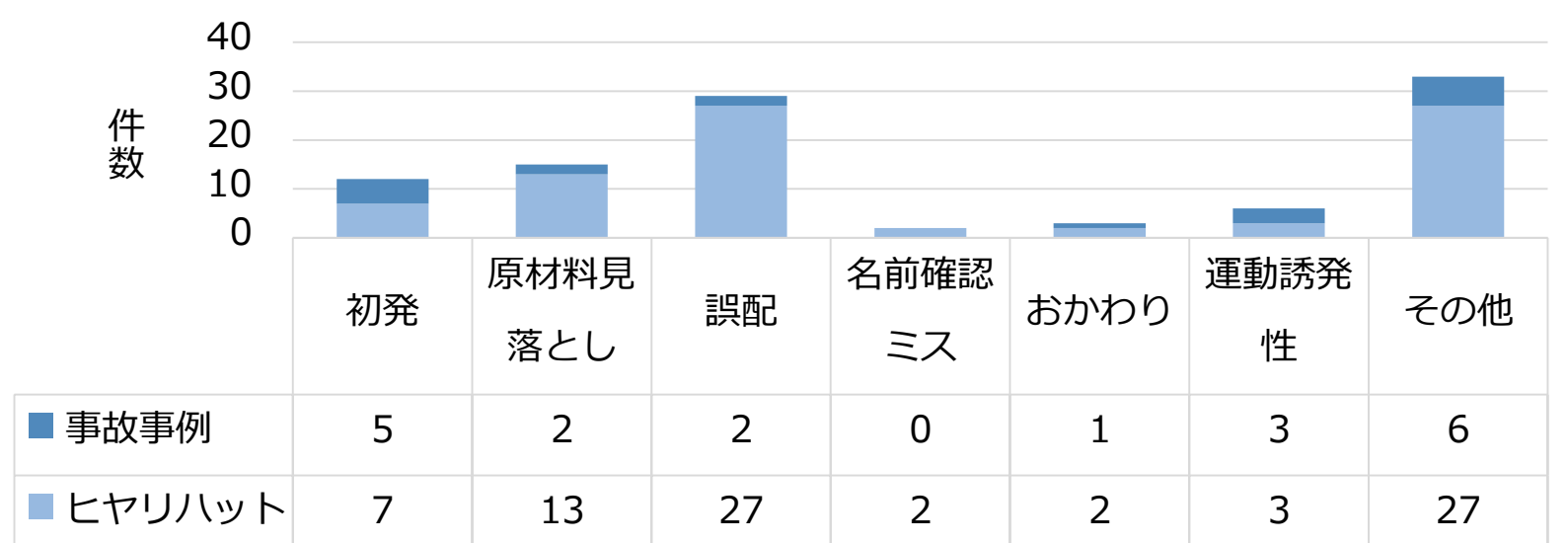
5. 特定原材料別の主なアレルギー症状



6. 発生事例の種類（括弧内は件数）



7. 原因別発生件数（複数回答あり）



（その他自由記載）
職員の確認ミス、納入業者のミス、調理器具の誤使用、勘違い、思い込み、園児への注意喚起、委託給食業者の原材料見落とし等